

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和2年度）

1. 施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地	大分市大字大在6番地
		電話番号	097-592-5931
		ホームページ	<a href="http://www.oitac.jp/">http://www.oitac.jp/</a>

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 株式会社大分国際貿易センター	所在地 大分市大字大在6番地	県の所管部課 (局・室)	土木建築部 港湾課 TEL : 097-506-4614
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		

3. 施設の概要

設置年月日	平成9年1月24日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成4年4月に整備事業に着手し、平成8年11月に供用開始した。
事業内容	①港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関する事。 ②港湾施設の利用促進に関する事。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関する事。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関する事。
施設内容	燻蒸庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料】 ガントリークレーン：1回 26,500円(1時間以内) 燻蒸庫：1回 840円(1㎡) 冷凍コンセント：1口 320円(1時間) トラックスケール：1回 370円
閉館日	年中無休（365日・24時間フルオープン）

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値		実績		達成率(%)	
コンテナ取扱量 (実入、外貨及び内貨) (TEU)	平成29年度	38,000		36,863		97.0%	
安全管理率(%)	平成30年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数 (TEU) 企業訪問数(社)		300 30	80 44	26.7% 146.7%			
安全管理率(%)	令和元年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数 (TEU) 企業訪問数(社)		500 50	2 50	0.4% 100.0%			
安全管理率(%)	令和2年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数 (TEU) 企業訪問数(社)		500 50	0 21	0.0% 42.0%			

5. 施設の利用状況

コンテナ取扱量 (実入、外買及び内買) (TEU)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	2,624	2,786	3,054	3,315	2,913	3,068	
	平成30年度	3,463	3,128	3,557	3,101	3,629	3,438	
	令和元年度	3,788	3,199	3,639	3,405	3,724	3,467	
	令和2年度	3,025	2,834	2,663	3,161	3,552	3,244	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	3,078	3,034	3,107	3,210	3,082	3,592	36,863
	平成30年度	3,476	3,711	3,675	3,473	3,188	3,669	41,508
	令和元年度	3,422	3,589	3,825	3,166	3,150	3,636	42,010
	令和2年度	3,869	3,646	3,432	3,139	3,229	3,727	39,521

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」の際に、港湾利用業者から要望等の聴き取りを実施した。 (令和2年7月30日)	
	実施結果	指定管理者、コンテナターミナル利用者(鶴崎海陸運輸(株)、日本通運(株))と大分県で連絡調整会議を行った。 車両などの誤進入及び不法侵入の予防を図るため、「立入禁止」表示板の表示及び位置の変更等要望が出た。また、利用者から意見要望は出たが、指定管理者への苦情等はなかった。	
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況	
実入り3段積み補強工事をして欲しい。		令和2年度から工事实施	
「立入禁止」表示板の表示及び位置の変更して欲しい。		令和2年度県予算で実施済	
クレーンのアンカーポジションの水抜き処理をして欲しい。		令和2年度県予算で実施済	
駐車場を増設して欲しい。		令和2年度県予算で実施済	

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実に良い良好な状態に維持管理し、365日・24時間常にサービス提供ができるよう努めた。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。</li> <li>○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。</li> <li>○ 大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議を行い、利用者から直接意見の聴取を行い、意見や要望を解決できるようにサービスの向上に努めている。</li> </ul>
-------------	--

イベント等の充実	<p>○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。</p> <p>○ 小学生の社会見学、企業向けの施設見学受け入れ。</p>
----------	--

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入額(A)		48,544	48,544	52,411	55,236
内 訳	県からの委託料	48,544	48,544	52,411	55,236
	利用料金				
	事業収入				
	自主事業収入				
	その他				
支出額(B)		45,597	47,401	50,859	53,030
内 訳	人件費	19,960	19,337	20,444	21,534
	維持管理費	15,995	16,692	20,373	20,851
	事業費				
	自主事業費				
	その他(通信運搬費、消耗品等)	9,642	11,372	10,042	10,645
収支差額(A-B)		2,947	1,143	1,552	2,206

9. 施設使用料等の収入状況

使用料(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	4,282	4,321	4,439	4,637	4,495	4,684	
	平成30年度	5,018	4,843	5,114	4,742	5,060	5,112	
	令和元年度	5,197	5,255	5,711	5,952	6,075	6,936	
	令和2年度	6,290	6,090	5,739	5,998	6,455	7,096	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	4,750	4,824	4,783	5,131	5,058	5,767	57,171
	平成30年度	5,088	5,281	5,547	5,598	5,154	5,562	62,119
	令和元年度	6,516	6,445	6,949	6,464	6,486	6,831	74,817
	令和2年度	7,035	6,686	6,566	6,039	5,924	7,623	77,541

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(1・嘱託職員) 総務スタッフ(1・正規職員) 総務スタッフ(1・派遣職員) 技術スタッフ(1・正規職員) 技術スタッフ(1・嘱託職員)							
	職員数 (R2.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	2			2			1	5

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	技術スタッフの育成には力を入れており、1級コンテナクレーン運転資格や港湾荷役に不可欠な陸上無線技師資格などコンテナターミナルの運営管理に必要な資格を取得させている。
防災に関する研修・訓練	毎年1月に防災訓練(地震と津波)を実施するとともに、消火器を使った消火訓練も実施している。
安全対策等	「大分港大在コンテナターミナル安全作業基準」の遵守を徹底させるとともに台風災害や設備事故には、緊急連絡網を活用し、適宜、適切な措置を講じられるよう体制を整えている。